

1 国語に関する調査

【特長】

- 相手の反応を踏まえ、自分の考えが分かりやすく伝わるように話し方を工夫する問題の正答率が高い。
- 物語の登場人物がどのような性格の人物として描かれているかを書く問題の正答率が高い。授業で何度も取り組んだことが理由であると思われる。

【課題】

- 条件に合った文章を書く問題に課題が見られる。授業で心情を表す語句を使って文章を書く学習にさらに取り組む必要がある。
- 文章の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く問題について課題が見られる。複数の質問の内容を結びつけながら書く学習に取り組む必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- 事象を数学的に説明することができている。論理的思考力を高めるプリント学習を定期的に行っている成果だと考えられる。
- グラフからの情報を適切に読み取ることができている。授業の際、グラフを用いた活動を取り入れている成果だと考えられる。

【課題】

- 記述形式の証明の問題の正答率が低い。証明をする際に、使う情報や手順を自分の言葉でまとめる学習活動を取り入れたい。
- 素数を選ぶ問題で、1を含めている誤答が多い。素数を用いる際にどうして1が含まれないのか丁寧に指導し、素数の意味の理解を深める必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- 科学的な探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できている。

【課題】

- 定着した知識を用いて他分野や生活に結びつけていく事に課題がある。授業で繋がりを意識した振り返りに取り組みたい。併せて、実験に対して計画・考察・発表までを主体的に行える学習活動も必要である。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・自分とは違う意見についても受け入れる姿勢を持っている生徒の割合が高く、地域をはじめとする周囲の人々との良好な関りを感じる。地域の特色や1小1中である環境も影響していると考えられる。
- ・話し合い活動や課題解決学習を通して、自分の考えを深め、次に繋がる新たな気づきができていると感じている生徒の割合が高い。

【課題】

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合は決して低くはないが、すべての生徒がいじめはどんなことがあってもいけないことだとの認識を持つよう、あらゆる教育活動を通じて啓発する必要がある。
- ・授業でのICT機器の活用については、例年と同様に使用頻度が低い。授業に効果的に取り入れることができるよう、継続して活用を進める必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくりとインクルーシブ教育の視点を大切にした学校運営により、すべての生徒が主体的に学び、学力を向上させるよう取り組んでいく。
- ・主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、生徒の自己有用感等にも影響を与えている可能性があるとの報告もあり、授業だけでなく学校生活全般において実践を進める意識を持つ。
- ・目標の明確な提示や1つ1つのステップを踏んでいく手立てを工夫することで、生徒が主体的に学ぶ姿勢を育成し定着させていくよう支援する。
- ・話し合い活動や学び合いを通して、学習面での基礎・基本の定着を図ると共に望ましい人間関係の構築についても進められるよう、様々な場面を設定することを考える。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・生活リズムの乱れや犯罪被害に繋がることのないよう、インターネットやスマートフォンの扱いやゲーム時間等に関する家庭内のルールを確立し、使い方について留意してください。
- ・地域の皆さまには常に温かく見守っていただいています。中学生の地域行事等への参加やその中での活動について、今後も継続してご協力をお願いします。
- ・家庭学習を計画的に進める習慣を身に付けたり、長い目で見た将来の夢や人生設計などについて家族で話し合う時間を設けてください。